

## A cross-sectional observational study of developmental coordination disorders in the school-age very low birth weight children

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2022-07-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 井上, 亜由美 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.20780/00033287">https://doi.org/10.20780/00033287</a>

様式 (6)

## 学 位 審 査

学 位 番 号	甲 第 766 号	氏 名	井上 亜由美
審 査 委 員 会	主 査 教 授	西村 勝治	
<p>論文審査の要旨 (400 字以内)</p> <p>就学期を迎えた極低出生体重児では知的能力症を伴わない軽微な神経発達症の合併が定型発達児に比して多く、なかでも発達性協調運動症は就学後の学校生活に支障を来している。本論文は極低出生体重児 14 名を対象として、就学直前のフォローアップ健診の時点における微細協調運動機能を検討したものである。結果として、極低出生体重児は健常対照群にくらべて手指の巧緻性がとりわけ低く、運動の不器用さに起因する日常生活の問題と結びついていることが明らかになった。今後の有効な理学療法的介入を考える手掛かりとなる結果が得られた。</p> <p>論文として研究目的、研究方法は分かりやすく提示され、統計解析も適切に行われていた。結果は明確に呈示されており、考察では論文の位置づけ、限界、将来への展望が明記されており、質の高い論文となった。学位に十分に値する論文と思われる。</p> <p>本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に医学部学務課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]</p>			